

📌 制度の概要

希少な生きもののすみかや将来世代に引き継ぎたい美しい風景を守るため、**自然保護助成基金と日本ナショナル・トラスト協会**が2005年に創設した助成制度です。絶滅の危機にある動植物や失われ続けている自然環境を保護するため、**各地のトラスト活動を支援し重要な土地を確保**することを目的としています。

🏠 支援内容

☐ 土地購入・借り入れ費用

自然保護のための土地購入代金、賃貸料および関連費用

審査により**必要経費の一部助成**

年間最大**500万円**

☐ 団体立ち上げ・維持管理費用

トラスト団体設立費、トラスト地維持管理に必要な費用

審査により**必要経費の一部助成**

複数年総額**800万円限度**

👥 対象となる取組

【土地取得・借り入れ】

- ☐ 絶滅危惧種保護に必要な土地の購入
- ☐ 生物多様性保全が必要な土地の賃借
- ☐ 所有権移転登記等の手続き費用

【団体・保全活動支援】

- ☐ トラスト団体のホームページ新設
- ☐ 団体紹介パンフレット印刷費
- ☐ 看板・柵・歩道等の設置工事費
- ☐ 維持管理に必要な機材・物品購入費

👤 対象者

- ☐ **法人格を有する**非営利活動団体
- ☐ 地域の自然環境保全を目的とする団体
- ☐ 特定政党・宗教に偏りをもたない団体
- ☐ 助成事業実施の組織体制が整った団体

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **希少種の存在証明**：絶滅危惧種や地域固有種の生息・生育調査データ提出
- ☐ **保護の緊急性**：**開発リスクや土地売却**などの差し迫った脅威を明示
- ☐ **地権者の理解**：土地購入・借り入れについて地権者同意を事前取得
- ☐ **維持管理計画**：取得後の長期的な保全・管理体制を具体化

📊 戦略的分析

【生物多様性保全の重要性】

- ☐ **科学的根拠**による希少種保護の必要性を立証
- ☐ 生態系サービス価値を**経済効果**として数値化
- ☐ 地域住民や**関係者との連携体制**構築が重要

【段階的なステップアップ戦略】

- ☐ **小規模からスタート**し実績を積み重ね
- ☐ 複数年計画で**段階的に保全地を拡大**
- ☐ 他団体・行政との**ネットワーク構築**が効果的

📈 過去助成実績の推移



助成総額（2020-2024年）：年間400-600万円で推移

平均助成額：約300万円（1案件あたり）

🌿 採択事例と保全分野

保全対象	代表的な取組例
湿地・湖沼	絶滅危惧種アサザ・ガガブタ群落保護
里山環境	モミ群落・キンラン等希少種生息地
山頂・森林	オニヒョウタンボク等絶滅危惧種保護
湿原・泥炭地	タンチョウ生息地・エゾカンゾウ群落

👨‍🔬 専門家活用のおすすめ

- ☐ **生態学専門家**：希少種調査・生態系評価の科学的根拠作成
- ☐ **法務専門家**：土地取得・登記手続きの適切な実施
- ☐ **経営コンサル**：事業計画・収支計画書の効果的作成
- ☐ **地域コーディネーター**：地権者・住民との円滑な合意形成

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/28作成】

提出書類	チェックポイント
申請書	☐ 規定様式 での記入必須 ☐ 助成期間・金額を 明確に記載
土地関係書類	☐ 位置図・登記事項証明書・公図 ☐ 固定資産課税証明書 で評価額確認
団体書類	☐ 定款・役員名簿・決算書提出 ☐ 法人格証明 の明確化
現況写真	☐ 土地の現状を多角度から撮影 ☐ 希少種生息状況も併せて記録

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
書類準備に3～6ヶ月程度。地権者との事前調整と生態調査が重要。
事前相談で応募資格等を確認すること。
- 申請受付**
2025年4月1日～随時受付
郵送による申請書類提出（2部）。
※締切：2026年3月31日
- 審査期間**
書類審査（1次）→現地審査（2次）
- 結果通知**
審査終了後、直接文書で通知
- 交付・実施**
誓約書提出後、助成金交付。
助成期間中に活動・会計報告提出必須

⚠️ 補足事項

- ☐ 複数年申請は単年度ごとの審査が必要
- ☐ 助成成果発表会での発表義務（旅費支給）

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.ntrust.or.jp/subsidy/
お問い合わせ	公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル TEL：03-5979-8031 FAX：03-5979-8032 受付時間：月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00